

コネクターに関するヨーロッパ、日本の規格

規格		EN362					墜落制止用具の規格	
		ベーシック	マルチユース	ターミネーション	アンカー	スクリーリンク	コネクター	
		クラス B	クラス M	クラス T	クラス A	クラス Q		
外れ止め装置	外れ止め装置の必要性	要					要	
	自動ロック	ゲートが閉まった際に自動的にロックし、ゲートを開ける際は2つ以上の意図的な操作が必要				—	適切な外れ止め装置を備えていること	
	手動ロック	ゲートをロックする際に意図的な操作が必要で、ゲートを開ける際は2つ以上の意図的な操作が必要				ゲートを開けるために必要な外れ止め装置の回転数： ≥ 4 回転	—	
破断強度	縦軸方向 (ゲートを閉じ、外れ止め装置をロックしない状態)	> 15 kN				—	—	
	縦軸方向 (ゲートを閉じ、外れ止め装置をロックした状態)	> 20 kN				> 25 kN	≥ 11.5 kN	
	横方向 (ゲートを閉じた状態)	> 7 kN	> 15 kN	—		> 10 kN	—	
ゲートの機能	ゲートをロックした状態で縦軸方向に6kN荷重をかけた後も、開けることが可能であること	要	要	要	—	要	—	
ゲートの強度	ゲートを押し開ける方向への荷重	環状の外れ止め装置	1 kN (ゲートをロックした状態) の荷重をかけた後、ゲートのロック機能が正常に作動する				—	1 kN (ゲートをロックした状態) の荷重をかけた際、破断や機能を失うほどに変形せず、又外れ止め装置の機能が失われないこと
		環状以外の外れ止め装置	1 kN (ゲートをロックした状態) の荷重をかけた際、1 mm 以上ゲートが開かない				—	—
	ゲートへの横方向の荷重	環状以外の外れ止め装置	1.5 kN (ゲートをロックした状態) の荷重をかけた際、損傷がなく、またゲートのロック機能が正常に作動する				—	1.5 kN (ゲートをロックした状態) の荷重をかけた際、破断や機能を失うほどに変形せず、又外れ止め装置の機能が失われないこと

クラスB： 通常のカラビナ

クラスM： 通常のカラビナ又はスクリーリンクで、縦横方向に荷重されるもの

クラスT： 荷重方向が予め決められているコネクター

クラスA： 単管パイプなど特殊な形状のアンカーに直接クリップするコネクター

クラスQ： 常設用スクリーリンク